

砂川警察署の 統合反対運動に ご協力を



北海道警察本部より砂川市に対して、治安維持を高めるために、砂川警察署を隣接する滝川警察署と統合し、分庁舎化したいという説明がありました。

さらに、平成 27 年 7 月 25 日の新聞報道では「4 警察署の分庁舎化検討」という記事が報道され、管内では、砂川警察署のほか 3 警察署が統合されるという内容です。

これを受け、現在、市では町内会等を通じて、砂川警察署統合の自紙撤回を求める署名活動を実施しています。

●分庁舎化の理由

休日、夜間の勤務体制がぜい弱であり、大きな事件・事故の対応時や、留置場に容疑者の身柄を拘束した際には、帰宅した署員や駐在所等から応援を求めなければ対処できない状況にあり、そのことにより、地域の駐在所に警察官が常駐できていない問題が生じています。現状では、警察官を増員できる状況にないことから、隣接する滝川警察署と砂川警察署を統合して、署員数の多い警察署として治安力を高めるという理由です。

●砂川市の対応

統合・分庁舎化は、警察機能の強化を図るためとされていますが、北海道全体の警察署の再編計画が示されていない中で唐突なことであり、分庁舎になると、副署長クラスは配置されますが、窓口機能を除く警察機能は移管することになります。また、署員を統合後は13人にするというものです。

この分庁舎化の方針については、砂川市を含め、対象となっている地域においては、たいへん遺憾に思っており、断固として反対運動を進めていかなければならないと考えています。

砂川市は、災害拠点病院、救命救急センターという重要な役割を担う市立病院、広域消防組合などの機関があり、警察署と密接な連携が必要です。また、日本一長い直線道路として北海道の基幹道路でもある国道12号が南北に縦断していることから交通量も多く、6月6日に発生した悲惨な交通事故が2度と繰り返されないよう交通安全体制の確立が欠かせない状況にもあります。

さらに、特殊詐欺や不審者による高齢者や子ども等への犯罪の抑止力が弱まることや、高齢化等により防犯・交通関係団体等の組織力低下が進み、今後の犯罪等の抑制が鈍化することをはじめ、署員の大幅な削減は市民にとって、安心・安全な地域社会の形成に大きな不安を与えることとなります。また、将来的にも署員のさらなる削減が懸念されます。

これまで、地域の治安水準を保持しながら、市民の安心・安全を確保するという責務を担ってきた砂川警察署の「存続・堅持」は、今後とも非常に重要なものです。

このことから、地域警察力の低下を招く滝川警察署との統合については、白紙撤回を強く要望する考えです。

統合断固反対！白紙撤回を求めます！！



事件・事故が起きたとき、不安ではありませんか？

地域の安心・安全を守ってくれる砂川警察署の存続を市民みんなで訴えましょう！！

現在、町内会等を通じて署名活動を実施しています。市民の総意を結集して、北海道警察本部に反対の意志を強く訴えていきたいと考えますので、署名活動にご協力をお願いします。

なお、署名は市役所でも受け付けています。

【お問い合わせ】 企画調整係 ☎ 2 1 2 1